

会 議 概 要

- 1 審議会名 令和5年度安曇野市特別職報酬等審議会（第1回）
- 2 日 時 令和5年8月22日 午後1時30分から午後2時50分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎 3階 共用会議室305
- 4 出席者 中野会長、尾碁会長代理、黒岩委員、
白鳥委員、千國委員、平林委員、百瀬委員、
- 5 市側出席者 太田市長、平林総務部長、山口職員課長、野口課長補佐、川上主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和5年8月22日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会 （平林総務部長）
 - (2) 市長あいさつ （太田安曇野市長）
 - (3) 委員自己紹介
 - (4) 会長の選出、会長代理の指名
 - (5) 会長あいさつ
 - (6) 市長から諮問
 - (7) 議事
 - ① 市議会議員の報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額の改定について
 - ② その他
 - (8) 閉 会 （尾碁会長代理）
- 2 審議概要
 - ① 市議会議員の報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額の改定について（事務局より説明）
 - ・ 県内の類似団体を参考に審議を進めるか。県外の類似団体は参考としなくてよいか。
 - 長野県内の同規模自治体を参考とすることが合理的ではないかと思う。
 - ・ 「類似団体」とはなにか。
 - 類似団体は国が定める基準があり、人口的に言うと5万人以上10万人未満の中で、定められた産業構造、Ⅱ次とかⅢ次といったものが90%未満かつⅢ次が55%以上の分類に属する、Ⅱ-1という団体の中に安曇野市は含まれている。長野県内では、飯田市、須坂市、伊那市、佐久市。
 - ・ 市長、副市長、教育長は平成22年4月から選挙公約により減額だが、現在まで減額が続いているか。また、景気低迷により減額措置とのことだが、その判断基準は。
 - 現在は減額措置はない。景気低迷の判断基準は、職員の給料や手当は人事院勧告に基づき給料改定等を行っており、官民格差を反映していると考え。
 - ・ 飯田市と比較すると安曇野市は市長、副市長、教育長に重きを置いており、飯田市は議員に重きを置いている。その意味合いを教えていただければ。
 - 議員については、飯田市、佐久市より報酬額がかなり下回っている傾向がある。どのように捉えるか忌憚ないご意見をいただければと思う。両市に聞き取りを行い、次回にお示しできれば考える。
 - ・ 「4県内市の特別報酬等審議会の諮問・答申の概要（令和元年度以降）」に飯田市も追加いただきたい。
 - 平成30、31年度もお調べし、資料に追加したい。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

- ・議員報酬は、飯田市と比較するとたしかに差があるが、議員がどういった活動をしているか市民には見えないため、市民にとっての活動はどれぐらいあるのか疑問に思う。そこを明確にしていかないとこの報酬が本当に正しいのか判断が難しい。
- 議員はそれぞれ議会としての活動、議員個人としての活動がある。議会は、議会だよりや議会報告会がある。議会だよりは実際に読んでいただいている方は、内容もわかってくさると思う。報告会についても、議会として報告事項を打ち合わせしたり、リハーサルをするなど市民の皆様に関わりやすい説明ができるように活動をしている。個人の活動は、会派ごとに会派だよりを出しているし、報告会を開いているところもある。また、個人の活動でなかなか見えない部分ではあるが、個人的な相談等市民の声を聴いて活動をしている。議員として、市民の声を届けるのが一番の仕事だと考える。
- ・政務活動費について、政務活動費収支報告状況を見ると、全てを使い切っているわけではない。コロナ渦の影響もあるか。
- コロナ渦により先進地視察ができなくなるなど影響があったと考える。
- ・議員定数は、今後変わるのか。また、議員定数は他市と比較するといかがか。
- 議員定数が変わるという動きは現在はない。同規模自治体と比べると定数は少ないと考える。そのように考えると、議員一人当たりの負担は大きいと考える。
- ・政務活動費は、非常に難しい点がある。審議会の委員としては、議員は選挙で選んだのだから信頼をして、活動については見守るのはどうか。議員の活動が見えづらいといった市民の意見は議員の皆様にしっかりお伝えし、私どももそれを受け止めてお互いに信頼していくことが大切ではないか。
- ・安曇野市では、移住者が大変増えている。移住者の若者や子育て中の方、定年退職後の方などの割合はどの程度か。
- 次回お示ししたい。
- ・市長、副市長、教育長含めて、他市の状況をもみても増額や減額の年がある。その理由がわかれば参考になると考える。
- 可能限りお調べし、お示ししたい。
- ・県内19市の資料があるが、安曇野市だけの財政状況の過去5年程度の資料を追加したい。財政の健全性が後退していないということが分かれば一つの判断基準となる。
- 次回お示ししたい。

②その他（今後のスケジュールの確認）

【次回：令和5年9月27日（水）午後1時30分から】